

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No. 67

2025年
4月16日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

憲法に規定された人権保障と 労基法に基づく処遇改善を求めて質疑

まもなくメーデー、憲法記念日を迎えます。働く人たちとの連帯、憲法理念の実現は私たちの大切な運動課題です。今通信では国会でこうした課題を取り上げた山、吉川両議員の質問を紹介します。大型連休を前後して本格的な、そして事実上の参院選闘争がスタートします。勝利を目指し各地で頑張りましょう。

通信の秘密を守れ

山としひろ衆議院議員が「能動的サイバー防御」法案で

山としひろ衆議院議員は3月26日の内閣委員会で、国が平時から通信のやりとりを監視し、サイバー攻撃の兆候を確認した場合、攻撃者のサーバーなどにアクセスして無害化することを可能とした「能動的サイバー防御」法案の質疑に立ちました。



山議員は、国が通信のやりとりを監視する際、憲法21条に規定された「通信の秘密」の順守が必要であり、通信傍受法（盗聴法）ですら「通信の秘密を不当に侵害」しない条文が存在するのに対し、「能動的サイバー防御」法案には規定がないことを問題視しました。これに対し、平将明担当大臣は、条文がなくても「通信の秘密」の趣旨は確保されると強弁。山議員は「国の安全保障と人権保障のてんびんが、サイバー攻撃対策を機に、安全保障に大きく傾いている」と食い下がり、「通信の秘密」を条文化するよう、強く求めました。結果的に、山議員を始めとする立憲民主党の要求で「通信の秘密を尊重する」規定が、法案修正に盛り込まれることになりました。

教員の労働にも労基法の適用を

吉川はじめ衆議院議員が文部科学委員会で

吉川はじめ衆議院議員は4月2日、文部科学委員会で、後半国会の重要法案の一つ、公立小中学校教員の給与特例法（給特法）改正案に関して質問しました。公立小中学校教員の労働は、自主的・自律的なものとして労基法上の労働時間を適用せず、超過勤務に残業代が支払われていません。2019年の前回改正時に当時の萩生田大臣は、労基法と給特法上の教員の労働との間には「ズレ」があるとして、次回改正では「ズレ」の見直しが出発点になると答弁していました。



にもかかわらず、今回の改正において公立小中学校



教員の労働を依然として自主的・自律的と位置づけ、「ズレ」の見直しをスルーした文科省の姿勢を厳しく批判しました。法案質疑の際には、教員の処遇改善・長時間労働の是正・給特法の抜本的見直しを求めています。

全国自治体議員夏季研修会 ー多くの皆さんの参加を呼びかけますー

日程：8月17日（日）13時（開場12時30分）～ 8月18日（月）～12時

●会場：宮崎市・ホテル メリージュ

●参加費：2万円

●内容：記念講演、交流会、フィールドワークなど

富山

当面する
富山市議選勝利へ全力

3月22日、40名の参加で第5回定期総会が開催されました。岡崎代表は挨拶で「山議員の当選を勝ち取ることができた。若い党員が誕生しており、若者のフォーラムへの結

集にも努力したい。当面する富山市議選では全県から支持拡大の働き掛けを」と訴えました。

立憲県連の菅沢代表は「参院選は県内において自民に勝つ闘いにしなければならない」と挨拶。山衆議院議員からは「予算審議では3兆8千億の財源を確保し、ガソリン暫定税率廃止や学校給食の無償化などの修正を求めてきた。今後、平和・人権の課題、所属している内閣委員会では、サイバー攻撃やAI、学術会議などに取り組む」と国政報告を受けました。

討論では、消費税に関する党内議論等についての質問、富山市議選を全県闘争として支援を求める要請があり、答弁の後、承認されました。消費税については、まとまった見解ではありませんが、多くの議員が食料品等への非課税・引下げを求めています。

最後に富山市議選で奮闘中の村石篤氏、東篤氏、岡部享氏から決意表明を受けました。

福島

組織強化と
参院選勝利の決議採択

3月29日、第5回定期総会を開催しました。羽田房男・福島市議を議長に選出し、役員会を代表して紺野長人代表が挨拶。来賓は、小熊慎司・立憲民主党福島県代表、澤田精一・連合福島会長、角田政志・福島県平和フォーラム共同代表。石原洋三郎・立憲民主党公認参議院福島選挙区予定候補からは激励と連帯の挨拶を受けました。



6地区8人から報告。Y：交通職場では財政難で存続が危ぶまれている。組合も努力しているが限界であり国の支援が必要だ。F：繰越剰余金14.7億円（令和4年）あったが毎年の赤字で、令和8年で底がつく公立病院。T：自治体も財政調整基金（大災害、不測の減収）を食いつぶし、支援金・補助金の10%カット、会計年度任用職員23名が削減され公共サービスが低下、人勧未実施も予想される。

その他、組織状況、人員不足、財政難、働き方などの報告がありました。そして総会では「組織強化と参院選に勝利する決議」を採択しました。総会には代議員、役員を含め70人が参加しました。

宮城

農業所得補償や
消費税減税めぐり議論

宮城県では2020年12月に社会民主主義フォーラムの県組織を結成し、立憲民主党内での活動強化、護憲、平和、反原発、共生を目指す活動、県内各地につくられた地方護憲平和センターの活動を大きな柱とした交流・連携に取り組んできました。

3月29日には、仙台市内で宮城県社会民主主義フォーラムの第6回総会を開催し、総選挙の闘い（衆議院5選挙区中4選挙区で立憲民主党が議席を獲得）を受けた今後の課題について活発な意見交換を行いました。総会では農業所得補償や消費税減税、反戦平和活動強化などの意見が多く出されました。

当面する参議院選挙の予定候補「石垣のりこ」参議院議員、4月に行われる栗原市議選挙の予定候補「高橋勝男」市議、同じく4月に行われる登米市議選挙の予定候補「須藤幸喜」市議が決意表明を行い全力で闘う方針を確認しました。

また、三役では岸田清実代表、小山勇朗副代表が退任、新しく代表に辻隆一仙台市議、事務局長に石川建治仙台市議を選出しました。



東京

職場課題交流し
東京都議選勝利を決意

社民フォーラム東京は4月6日、「第5回総会」を開催しました。第1部は三雲崇正弁護士（立憲民主党都議予定候補／新宿区）から「『新しい資本主義』について」の記念講演をうけました。三雲さんは「人間と資本の一番の接点の場面は労働。この労働を中心とした新しい資本主義をもう一回構想しなおす必要がある」と提起されました。

第2部の総会では、風間ゆたか都議会議員（世田谷区）、三雲崇正都議予定候補（新宿区）から連帯のあいさつと決意表明がありました。

討論では、教員不足、介護施設での「日替わり」非正規人事配置、指定管理職場での「隙間バイトアプリ」使用問題、立憲民主党の大都市住宅政策、ネットワーク東京労大の労組青年部との交流、未組織職場の低賃金・不安定雇用問題、郵政や私鉄での春闘など発言、報告されました。

総会では結成以来4年間、事務局長を担われた市川正人さんが退任され、当面の間「合同事務局」体制をとることになりました。

